

令和4年度（2022年度）

管理事業名	感染症対策事業			総合計画 の体系	大綱 3	福祉・健康		
					政策 4	健康・医療のまちづくり		
					施策 1	健康づくりの推進		
主な歳出 予算科目	一般会計	(款) 4	衛生費	(項) 1	保健衛生費	(目) 14	予防費	
部局名	健康医療部	予算執行 所属	地域保健課					
<b>事業の目的と概要</b> 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づき、感染症患者への疫学調査や入院勧告、接触者への健診等の行政対応や、感染症予防に関する正しい知識の普及啓発等、総合的な感染症対策を実施することにより、感染症の発生予防及びまん延防止を図り、もって、市民の健康の保持増進を図る。 ・結核対策（結核患者への服薬支援及び接触者への健康診断等） ・HIV検査等性感染症対策 ・感染症発生動向調査事業 ・新型コロナウイルス感染症対策								

I 成果指標（活動指標）

指標名	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	指標の定義
結核患者への療養支援件数	件	846	710	843	結核患者への療養支援件数 （訪問指導、電話相談、来所相談の延べ件数） ※令和5年度行政評価から追加
HIV等性感染症検査実施件数	件	43	56	117	保健所が実施するHIV等性感染症検査の1年間の実施件数 ※令和5年度行政評価から追加
新型コロナウイルス感染症の行政検査の実施件数	件	37,366	150,682	250,692	1年間の新型コロナウイルス感染症に係る行政検査の実施件数（医療機関実施分含む）
新型コロナウイルス感染症の相談対応件数	件	24,288	28,909	34,172	1年間の新型コロナウイルス感染症に係る市保健所及び新型コロナ受診相談センターにおける相談対応件数 ※令和5年度行政評価から追加

II 活動実績・成果

<p>※指標「新型コロナウイルス感染症の行政検査の実施件数」の令和2、3年度実績を修正                  ※令和5年度行政評価から指標「新規登録患者数」を削除</p> <p>【指標1】結核患者への療養支援件数についての評価                  ・実施件数843件（前年比：133件の増）                  ・結核の新規登録患者数は横ばいであるが、令和4年度は感染防止対策を行いながら治療完遂に向けた患者及び家族等への訪問や面接等の支援を充実させた。そのため件数が増加した。令和4年度新規登録患者数：32件（令和2年度42件、令和3年度32件）</p> <p>【指標2】HIV等性感染症検査実施件数についての評価                  ・検査実施件数117件（前年比：61件増）                  ・令和2、3年度は、コロナの対応を優先したため、予定していた検査を中止し、実施件数が減少した。                  ・管内医療機関からの梅毒の発生届数は増加しており、保健所の検査においても患者の陽性率が上昇している。</p> <p>【指標3】新型コロナウイルス感染症の行政検査の実施件数についての評価                  ・実施件数250,692件（前年比：100,010件の増）                  ・件数の増は、感染規模の拡大と、診療・検査医療機関の普及により医療機関での検査実施件数が増加したことによるもの。                  ・医療機関における検査の普及により、迅速な検査体制の確保に繋がった。</p>	<p>【指標4】新型コロナウイルス感染症の相談対応件数についての評価                  ・対応件数34,172件（前年比：5,263件の増）                  ・件数の増は、感染規模の拡大によるもの。                  ・感染状況により、新型コロナ受診相談センターの体制を柔軟に強化した。</p> <p>【財務情報に基づいた評価】                  ・新型コロナウイルス感染症の感染規模の拡大のため公費負担額が増加したことにより、社会保障扶助費が249,194千円増加した。また、同感染症への対応で業務がひっ迫し、人員体制の確保や事務処理センター業務等委託による業務体制の整備に予備費活用を含めた対応を行ったことにより、物件費が184,729千円増加した。</p>
---	--

III 課題と今後の取組

<p>結核の新規登録者は減少傾向にあり、それに伴い治療経験のある医療機関が減少していること、また、海外渡航の制限緩和に伴う外国人の結核患者が予想されることから、引き続き、行政による結核対策及び予防に関する啓発が重要である。また、国の性感染症に関する特定予防指針では、保健所における検査機会の確保に努めることと示されていることや梅毒の患者数が増加していることから更なる検査体制の充実に向けた取組が必要である。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症対応においては、令和5年5月から感染症法上の位置づけが5類感染症に変更となることから、府が示す移行期間中を含め業務を順次整理し対応する必要がある。事務処理センターの廃止や派遣保健師の減員等の対応を行う一方で、高齢者施設等への対応や相談窓口の設置、入院調整の支援等の業務については継続されることから、感染状況を踏まえて効率的な業務の実施に努めるとともに、国や府の方針を注視し、縮小又は廃止の検討を行う。</p>
---	---

IV 財務情報

◆貸借対照表【BS】

(単位：千円)

勘定科目	令和3年度末 A	令和4年度末 B	差額 B-A	勘定科目	令和3年度末 A	令和4年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	17,005	17,103	98
未収金	-	-	-	地方債	-	-	-
流動資産	-	-	-	短期借入金	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	賞与引当金	17,005	17,103	98
短期貸付金	-	-	-	未払金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	リース債務	-	-	-
流動資産	-	-	-	その他流動負債	-	-	-
有形固定資産	-	-	-	固定負債	165,750	155,711	△10,039
土地	-	-	-	地方債	-	-	-
建物・工作物	-	-	-	長期借入金	-	-	-
リース資産	-	-	-	退職手当引当金	165,750	155,711	△10,039
建設仮勘定	-	-	-	リース債務	-	-	-
無形固定資産	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
有形固定資産	-	-	-	負債の部合計	182,755	172,815	△9,940
土地	-	-	-	純資産	△182,755	△172,815	9,940
建物・工作物	-	-	-				
建設仮勘定	-	-	-				
重要物品	-	-	-				
図書館資料	-	-	-				
投資その他の資産	-	-	-				
出資金	-	-	-				
長期貸付金	-	-	-				
基金	-	-	-				
徴収不能引当金	-	-	-	純資産の部合計	△182,755	△172,815	9,940
その他債権	-	-	-				
資産の部合計	-	-	-	負債及び純資産の部合計	-	-	-

◆行政コスト計算書【PL】

(単位：千円)

勘定科目	令和2年度	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	-	-	-	-
国庫支出金(経常費用充当)	274,681	434,901	1,047,324	612,423
府支出金(経常費用充当)	52,426	136,036	224,510	88,474
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	1	876	47,686	46,810
経常収入 小計(a)	327,108	571,813	1,319,520	747,707
給与関係費	150,990	270,045	229,051	△40,995
物件費	394,668	884,235	1,068,964	184,729
維持補修費	1,692	783	-	△783
社会保障扶助費	61,152	139,273	388,467	249,194
負担金・補助金・交付金等	13,979	94,892	20,464	△74,428
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	-	-	-	-
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	15,053	17,005	17,103	98
退職手当引当金繰入額	122,032	68,632	3,751	△64,881
支払利息	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	759,567	1,474,866	1,727,800	252,934
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△432,459	△903,052	△408,280	494,772
特別収入	-	-	-	-
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
特別費用	-	-	-	-
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別費用 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△432,459	△903,052	△408,280	494,772
一般財源充当額	306,312	846,445	418,220	△428,225
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	△126,147	△56,607	9,940	66,548

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表【CF】

(単位：千円)

区分	令和2年度	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	327,108	571,813	1,319,520	747,707
行政サービス活動支出	633,420	1,418,258	1,737,740	319,482
行政サービス活動収支差額	△306,312	△846,445	△418,220	428,225
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	-	-	-	-
投資活動収支差額	-	-	-	-
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	-	-	-	-
財務活動収支差額	-	-	-	-
収支差額 合計	△306,312	△846,445	△418,220	428,225
一般財源充当額	306,312	846,445	418,220	△428,225
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

財務諸表の特徴的な事項

勘定科目等	特徴的な事項
【PL】国庫支出金(経常費用充当)	感染症予防事業費負担金 8,977千円(48,508千円の増)、感染症発生動向調査事業費負担金 582,155千円(271,601千円の増)、感染症患者入院医療費負担金 376,037千円(288,624千円の増)
【PL】府支出金(経常費用充当)	新型コロナウイルス感染症対策支援事業費補助金 224,338千円(90,893千円の増)
【PL】物件費	新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴う委託料の増(行政検査委託料(医療機関実施工) 509,137千円(197,023千円の増)、保健師派遣委託料 91,377千円(64,809千円の増)、事務処理センター委託料 80,188千円(皆増))
【PL】社会保障扶助費	新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴う同感染症入院患者医療費の増 252,880千円

単位当たりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」÷「実績」)

単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
市民1人	コスト	2,015円	3,893円	4,532円
	実績	376,944人	378,781人	381,238人
	コスト	円	円	円
	実績			

分析内容  
市民1人当たりのコストが増加した要因としては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による感染者数の大幅な増加への対応強化とそれに伴う経費増大が考えられる。(※令和4年9月の感染者全数届出見直しのため、令和2、3年度も含め市民1人に変更)

人にかかるコストの内訳

	給与関係費等(千円)	うち時間外手当等(千円)	月平均従事人数(人)
常勤・再任用	232,212	20,550	26.74
会計年度任用等	16,667		
特別職非常勤	1,026		
合計	249,905		

分析指標

(単位：%)

分析指標	年度	令和2年度	令和3年度 A	令和4年度 B	差 B-A
施設老朽化比率		-	-	-	-
施設維持補修費比率		-	-	-	-
経常費用対公共資産比率		-	-	-	-
徴収不能引当率		-	-	-	-
受益者負担比率		-	-	-	-
一般財源充当比率		48.4	59.7	24.1	△35.6